

高等学校地理歴史科における深い学びの実現

- 歴史的思考力を育む授業を通じて -

学籍番号 199359

氏名 米花 拓樹

指導教員 櫻澤 誠

1. 背景

1.1 節 学習指導要領の観点から

高等学校の地理歴史科学習指導要領の目標において「歴史的思考力」を培うことの必要性がうたわれていることを紹介した。

1.2 節 歴史総合の観点から

「歴史総合」がどのような経緯で作られることとなったのかという点に触れ、そこでも思考力育成型の授業が求められている点を述べた。

1.3 節 大学入試改革の観点から

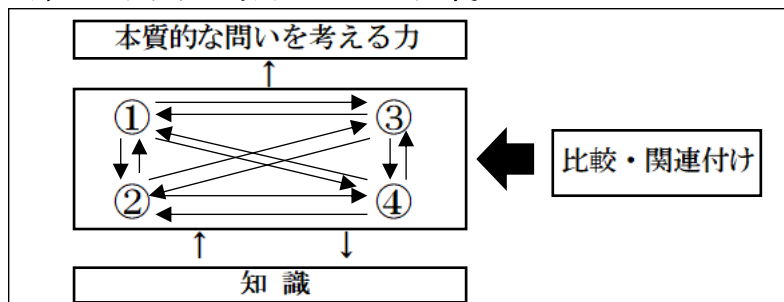
大学入試センターにおける大学入試改革では、「歴史的思考力」が問われることなどについて述べた。また、先行実践で検討されていなかった生徒に「歴史的思考力」を育成するうえでより良いアプローチ方法を検討することを本研究の最終的な目的とし、そのために、「歴史的思考力モデル」を定義づけ、それを育成するための授業提案をすることとした。

2. 歴史的思考力について

2.1 節 先行研究について

「歴史的思考力モデル」の定義づけにあたって、S. ワインバーグの4つの歴史的思考と、宇都宮明子氏や小田中直樹氏の先行研究を整理した。

2.2 節 歴史的思考力モデルの定義



3. 基本学校実習 I・II における実践と成果

3.1 節 基本学校実習 I について

基本学校実習 I では、授業見学等を中心とした実習校分析を行った。その結果、本研究が実習校においても有意義なものであることを述べた。

3.2 節 基本学校実習 II について

基本学校実習 II では、高校 2 年生に世界史 A の授業を行った。「歴史的思考力」を育成するうえで、史資料を用いたワークの必要性を述べた。

3.3 節 基本学校実習を通じてのまとめ

基本学校実習全体の成果と課題についてまとめ、発展課題実習に向けての方向性を述べた。

4. 発展課題実習 I における実践

4.1 節 発展課題実習 I における目的と手法

前章の課題を基に、発展課題実習 I における目的と手法について述べた。

4.2 節 授業実践について

高校 2 年生に世界史 A の範囲で全 2 回行った授業実践について紹介した。

4.3 節 授業の分析について

前節の授業における成果と課題を生徒の記述から分析を行った。

4.4 節 発展課題実習 I を通じてのまとめ

発展課題実習 I 全体を通しての成果・課題をまとめ、発展課題実習 II に向けての方向性を述べた。

5. 発展課題実習 II における実践

5.1 節 発展課題実習 II における目的と手法

前章の課題を基に、発展課題実習 II における目的と手法について述べた。

5.2 節 授業実践について

高校 2 年生に世界史 A の範囲で行った全 2 回の授業について紹介した。

5.3 節 授業の分析について

前節に紹介した授業における成果と課題を生徒の記述から分析を行った。

5.4 節 発展課題実習 II を通じてのまとめ

発展課題実習 II 全体を通しての成果・課題をまとめた。

6. まとめ

本稿で述べてきたことを再度まとめ直し、本研究の成果と課題についてまとめた。成果としては、「歴史的思考力」を提案した授業において育成することが出来た点、アンケート調査から、全体の 86.2% (少数第 4 位四捨五入) もの生徒が、本実践を通して行ってきた、ワークの図式化や、思考ツールの方が考えやすいと回答した点を挙げた。一方課題としては、発問の質の課題について、ワークの図式化や思考ツールを含んだ「歴史的思考力モデル」の再考について挙げた。そして、最後に、単元ベースで「歴史的思考力」を育成する必要性や、生徒の疑問を基に発問を作成することの可能性について言及した。